



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月11日

会社名 レシップ株式会社 (JASDAQ・コード番号：7213)

(URL <http://www.lecip.co.jp>)

代表者 代表者役職名 代表取締役社長  
氏名 杉本 眞

問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理本部長  
氏名 山口 芳典

(電話番号：058-323-7647)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用 : 有  
の有無  
(内容)  
税金費用については法定実効税率による簡便な方法を採用しております。  
その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理方法の変 : 無  
更の有無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有  
持分法 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	3,377	—	11	—	9	—	18	—
18年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考)18年3月期	17,233		1,089		1,086		622	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	2	95	—	—
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	96	29	—	—

(注) 1. 当期から第1四半期の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しませんので記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の方が国経済は、企業収益の改善及び個人消費の伸びなどにより、緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国景気の減速や引き続き原油価格の高騰により、先行きは不透明な状況にあります。

こうした状況の中で、当社グループは経営理念である「『省エネルギー』・『地球環境対応』・『セキュリティ強化』を通じて、快適な日常を実現するための製品、サービスを社会に提供する。」の精神のもと、新市場の開拓及び新製品の開発検討に努めるとともに、既存市場でのシェアアップを積極的に図りました。

その結果、当第1四半期の売上高は33億77百万円、営業利益11百万円、経常利益9百万円、四半期純利益18百万円となりました。

当四半期におきましては、バス用LED式行先表示器、デジタル運賃表示器、ワンマン鉄道用機

器の販売が順調でありました。

一方で、当社の主力のバス用運賃収受関連機器は、取付関連の調整が遅れたことにより、当初の予想よりも遅れて市場導入されることとなりました。また、銅などの原材料価格の高騰が原価に影響を及ぼし、利益を圧迫する要因となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	9,597	3,756	39.1	587 78
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	10,512	3,895	37.1	599 65

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△17	△98	△297	461
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	181	△361	△127	873

(注) 当期から第1四半期の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物は461百万円となり、前年度末より412百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は17百万円となりました。これは主に、税金等調整前利益が49百万円となり、売上債権の減少844百万円があったもののたな卸資産の増加308百万円及び法人税等の支払414百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は98百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は297百万円となりました。これは主に、長短借入金の返済による支出が214百万円あったことによるものです。

【参考】平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	7,660	300	280	185
通期	16,300	1,210	1,200	720

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）112円66銭

(注) 平成18年5月15日の決算発表時に公表いたしました平成19年3月期の業績予想におきましては、営業利益を開示しておりませんが、当業績予想より開示しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年5月15日付けで発表いたしました連結中間業績予想につきまして、第1四半期が経過した結果をもとに、上記のとおり修正いたします。詳細につきましては、本日（平成18年8月11日）発表しております「業績予想（平成19年3月期中間）の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※業績予想につきましては、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	581	—	—	—	993
受取手形及び売掛金	3,533	—	—	—	4,375
たな卸資産	1,817	—	—	—	1,502
その他	614	—	—	—	584
流動資産合計	6,547	—	—	—	7,454
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,471	—	—	—	1,489
工具器具備品	413	—	—	—	387
その他	459	—	—	—	457
有形固定資産計	2,343	—	—	—	2,334
無形固定資産	89	—	—	—	93
投資その他の資産	616	—	—	—	629
固定資産合計	3,050	—	—	—	3,057
資産合計	9,597	—	—	—	10,512
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	2,767	—	—	—	2,808
短期借入金	302	—	—	—	433
1年以内返済予定の 長期借入金	163	—	—	—	202
1年以内償還予定 社債	700	—	—	—	700
賞与引当金	171	—	—	—	330
製品保証引当金	52	—	—	—	56
その他	609	—	—	—	980
流動負債合計	4,766	—	—	—	5,512
II 固定負債					
長期借入金	754	—	—	—	783
退職給付引当金	6	—	—	—	5
その他	313	—	—	—	315
固定負債合計	1,075	—	—	—	1,104
負債合計	5,841	—	—	—	6,616

(資本の部)					
I 資本金	—	—	—	—	735
II 資本剰余金	—	—	—	—	719
III 利益剰余金	—	—	—	—	2,420
IV その他有価証券評価 差額金	—	—	—	—	82
V 為替換算調整勘定	—	—	—	—	△50
VI 自己株式	—	—	—	—	△11
資本合計	—	—	—	—	3,895
負債及び資本合計	—	—	—	—	10,512
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	735	—	—	—	—
資本剰余金	719	—	—	—	—
利益剰余金	2,298	—	—	—	—
自己資本	△14	—	—	—	—
株主資本合計	3,738	—	—	—	—
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	66	—	—	—	—
為替換算調整勘定	△49	—	—	—	—
評価・換算差額等合計	17	—	—	—	—
純資産合計	3,756	—	—	—	—
負債、純資産合計	9,597	—	—	—	—

## 2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	3,377	—	—	—	17,233
II 売上原価	2,625	—	—	—	13,113
売上総利益	752	—	—	—	4,120
III 販売費及び一般管理費	740	—	—	—	3,031
営業利益	11	—	—	—	1,089
IV 営業外収益	17	—	—	—	83
(うち受取利息及び配 当金)	0	—	—	—	1
V 営業外費用	19	—	—	—	86
(うち支払利息)	9	—	—	—	39
経常利益	9	—	—	—	1,086
VI 特別利益	41	—	—	—	78
VII 特別損失	1	—	—	—	24
税引前四半期(当期) 純利益	49	—	—	—	1,140
税金費用	30	—	—	—	517
四半期(当期)純利益	18	—	—	—	622

### 3. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	49	—	1,140
減価償却費	101	—	436
賞与引当金の増減額(減少：△)	△159	—	15
製品保証引当金の増減額(減少：△)	△4	—	3
特定製品補償損失引当金の増減額(減少：△)	—	—	△22
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	—	—	△178
受取利息及び受取配当金	△0	—	△1
支払利息	9	—	39
固定資産売却損益等	△0	—	△21
売上債権の増減額(増加：△)	844	—	△80
たな卸資産の増減額(増加：△)	△308	—	△127
仕入債務の増減額(減少：△)	△57	—	△590
役員賞与の支払額	△62	—	△53
その他	△8	—	△245
小 計	403	—	314
利息及び配当金の受取額	1	—	1
利息の支払額	△7	—	△39
法人税等の支払額	△414	—	△95
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17	—	181
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△137	—	△356
有形固定資産の売却による収入	3	—	51
関係会社株式の売却による収入	39	—	23
その他	△4	—	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98	—	△361
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額(減少：△)	△146	—	△92
長期借入金の返済による支出	△68	—	△327
社債の償還による支出	—	—	△500
株式の発行による収入	—	—	859
自己株式の取得による支出	△3	—	△11
配当金の支払額	△79	—	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297	—	△127
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	1	—	8
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)</b>	△411	—	△298
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	873	—	1,155
<b>VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加</b>	—	—	27
<b>VIII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少</b>	—	—	△10
<b>IX 現金及び現金同等物の期末残高</b>	461	—	873